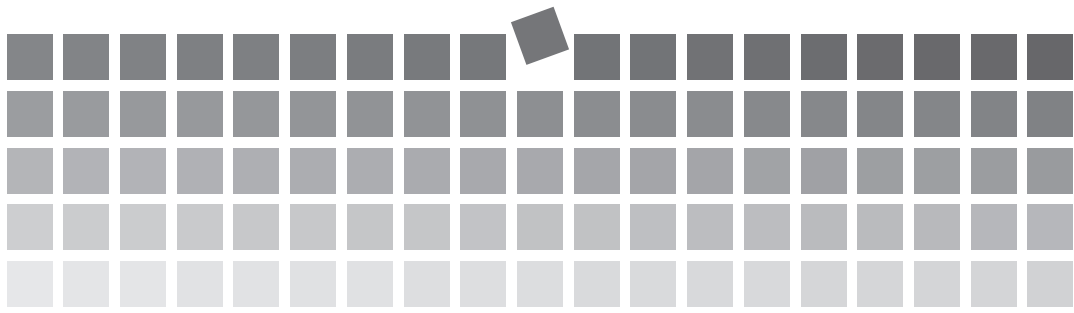


保育科学研究

第11卷 (2020年度・2021年度)



社会福祉法人日本保育協会 保育科学研究所

発刊にあたって

日本保育協会保育科学研究所の2020年度、2021年度の研究成果をまとめた「保育科学研究第11巻」を発刊いたします。

2020年度、2021年度の総合テーマは、「低年齢児の保育と環境について」とし、全部で4件の研究を掲載しています。2021年度研究要旨については、研究所が年3回発行している「研究所だより」第35号で紹介しております。

次の2022年度の研究では、総合テーマは本年度に引き続き「低年齢児の保育と環境について」とし、9件の研究計画が、審査委員会、倫理委員会を経て運営委員会において承認され、研究が開始されます。これらの研究要旨については「研究所だより」第37号で紹介する予定です。

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度、2021年度に実施予定だった「学術集会」の開催を中止いたしました。

しかしながら、当協会において様々な大会事業が中止となったことに伴って開催した「日本保育協会オンライン研修大会」（2021年10月27日配信）において、会員に当研究所の事業内容を周知する目的で、2019年度研究、2020年度研究の計6件の研究発表を行いました。この概要を「研究所だより」第35号に掲載しています。

なお、これらの研究所の発刊物は日本保育協会のホームページ内、「保育科学研究所」からご覧いただけます。

今後とも保育科学研究所は、日本の乳幼児保育の向上を願い、保育実践・研究の各分野でご活躍の皆様の参加を得て、保育を科学する研究を充実させていくために努めて参りたいと思います。

引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年3月

日本保育協会保育科学研究所長

五十嵐 隆

目 次

発刊にあたって (五十嵐 隆)

研究論文

【2020年度保育科学研究】

乳幼児の集団生活の場における感染症対策と

保育環境の衛生管理に関する研究 (菅原 民枝) …………… 3

【2021年度保育科学研究】

乳児期の食事場面における子どもの心地よさを支えるための要因に関する研究

—子どもと保育者の関係性構築のプロセスに着目して— (淀川 裕美) ……………31

3歳未満児における保育内容の評価に関する研究—人的環境・物的環境・言語環境

の研究から見えてきたものを土台として— (岩橋 道世) ……………53

保育施設等の日常の感染症対策と感染症拡大防止策の

評価と課題に関する研究 (菅原 民枝) ……………69

(資 料)

日本保育協会保育科学研究所細則…………… 103

日本保育協会保育科学研究所倫理委員会細則…………… 105

日本保育協会保育科学研究所審査委員会細則…………… 106

日本保育協会保育科学研究所企画委員会細則…………… 107

日本保育協会保育科学研究所運営委員名簿…………… 108